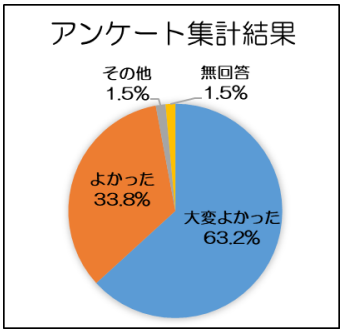
研修のまとめ

佐世保市幼児教育センター

令和５年度　　保幼小連携講座Ⅰ　小学校教育について学ぼう

目 的	・幼児期において育みたい資質・能力（３つの柱）及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（１０の姿）を保幼小職員で共有し、育ちと学びの連続性について考え合う。 ・小学校教育（小学校での生活）について学ぶ。 ・乳幼児期から学童期への子どもの発達の過程を具体的な姿を通して知る。 ・小学校教育について理解し合い、保幼小連携について考え合う。
日時・場所	令和５年７月４日（火）１４：１０～１６：４５ 担当校：佐世保市立花高小学校
対 象	乳幼児教育・保育施設職員、小学校教職員
内 容	１．公開授業（１年生）　２．協議　３．まとめ
まとめ	学校教育課　主査　本城理　先生

参加者（合計　６９　名）			
保育所	幼稚園	認定こども園	小学校
28	5	22	14



【感想】

・幼小の担当で話すことで共有できることや新たな視点が増えました。それぞれの立場で、子ども中心となる関わりの必要性を感じました。

・地域によっては、とても深く、いろいろな連携をされていました。しかし、自分の園の地域ではあまり活発でなく、残念です。もっと動いていこうと思います。

・誰のための連携であるのか…子どもを中心に考えられる保育者で在りたいと思いました。家庭を含めた連携に広い視野をもって、取り組んでいきたいな…と思います

・連けいの現状と課題を解決していく方策を１つでも多く実践していく必要があると思います。特に職員が共に学ぶ機会をつくっていく必要性を感じています。

・コロナ後、ひさしぶりの、対面でのグループ討議や公開授業参観でしたが、やはり生の子どもたちとのやりとり、先生方とのやりとり、最高でした。

「連携する」とは「いつ、誰が　どこで　何を　どうする」ことなのか　改めて考えるきっかけになりました。もっと対話の必要があると思います。